

2026 年 5 月 12 日

報道関係各位

セーラー万年筆株式会社創業115周年記念万年筆HIROSHIMA

『寄木細工』、『モミジ』

8月6日（木）限定発売

セーラー万年筆（社長：田村光、本社：東京都港区）は、創業115周年記念万年筆 HIROSHIMA『寄木細工』『モミジ』を国内・海外のセーラー万年筆製品取扱販売店にて、8月6日より限定で発売いたします。

■セーラー万年筆株式会社創業115周年記念万年筆 HIROSHIMA『寄木細工』、『モミジ』

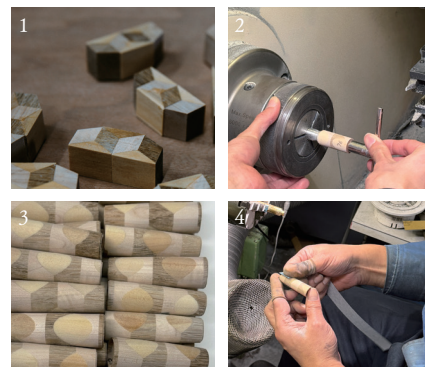
このたびの創業115周年記念万年筆を形にするにあたり、多くの広島県の作り手の皆様、そして東広島市より多大なるご協力を賜りました。万年筆本体の木材加工から、説明書・パッケージの制作、紙素材、伝統の手すき和紙加工そして1本袋に使用した備後緋に至るまで一。本記念万年筆は、広島県の作り手や素材を凝縮し、徹底して「広島」にこだわり抜いた逸品です。東広島市の市章には、未来への飛躍を願う鳥の姿と共に、学問の象徴である「ペン先」が刻まれています。市のシンボルにペン先を抱く東広島市と、広島県の地で115年にわたり万年筆を作り続けてきたセーラー。深い縁に導かれ、創業115周年にふさわしい特別な万年筆が完成いたしました。



東広島市市章

◆『寄木細工』

広島県の森から生まれた三種の木の息づかいを自然に大胆に織り込んだ万年筆
広島県で伐採されたモミジの「調和」、イチヨウの「不変」、アベマキの「力強さ」。それぞれの樹木言葉を宿した木材が、寄木細工の緻密な計算によって、鮮やかな幾何学模様へと昇華されています。天然木ならではの柔らかな手触りと、寄木が描くモダンな意匠です。



◆『モミジ』

モミジは広島県の県木（および県の花）です。1966年に制定され、全域に広く分布し、広島の名所でも多く見られるため選ばれました。これらはカエデ類の総称として指定されており、宮島の「もみじまんじゅう」という広島を代表する土産菓子の由来にもなっています。



1. 寄木細工（西川家具）、2. 切削加工（セーラー万年筆）、3. 切削あがり（セーラー万年筆）、4. 磨き（セーラー万年筆）、5. 製材（きこりや）、6. 含浸（24 季 Stabilized wood works）

●蓋金輪

オリジナルの刻印を施した蓋金輪です。刻印には「SAILOR 115th ANNIVERSARY HIROSHIMA Est.」を採用しました。115 周年の記念表記とともに、広島（HIROSHIMA）および創業（Established）という要素を凝縮し、記念モデルとしての特別感を演出しています。

SAILOR 115th ANNIVERSARY HIROSHIMA Est.



世界で評価された 21 金ペン先 Internationally acclaimed 21K gold nibs

セーラー万年筆独自の技術で成し得た 21 金ペン先。万年筆のペン先として多く使われている 14 金や 18 金に比べて弾力をもたせており、筆圧が強かかったときでもペン先の切れ込みが開くことなく、インク切れが起こりにくくなります。“しなる”ように紙面を滑り、常に安定したインク供給で“フェザータッチ”とも言われる快適な書き味が楽しめます。しなやかな書き心地を実現した、万年筆の原点が感じられる逸品です。

ペン先

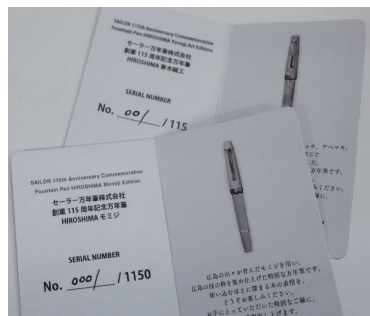


115 周年限定の
オリジナル刻印

● シリアルナンバー



寄木細工、モミジともに本体尾栓部にシリアルナンバーをレーザーで印字しております。



寄木細工、モミジともにシリアルナンバーカードが付属します。

折り鶴オブジェ



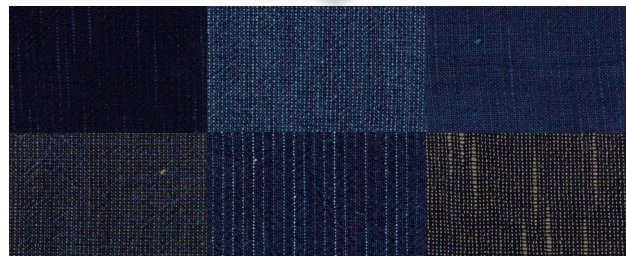
創業記念万年筆のモチーフである『折り鶴』を寄木細工で制作。本万年筆だけに用意された、特別なオブジェとして同梱しています。

● 備後絣 1 本袋

1 本袋の布には広島県の伝統工芸、備後絣を使用しています。素材は木綿、藍染や柿渋染で染めています。

備後絣（びんごがすり）は、江戸時代末期の 1853 年に広島県福山市芦田町の富田久三郎が開発した、日本三大絣（伊予・久留米・備後）の一つです。丈夫で柔らかい風合いが特長の木綿織物であり、1992 年に広島県指定伝統的工芸品に登録されています。

備後絣のピークは 1960（昭和 35）年頃。織元は 250 社あり、国内生産の約 7 割（約 330 万反）を占めていましたが、現在は「森田織物」「橘高兄弟商会」の織元 2 社だけが、伝統の製法を受け継ぎ生産を続けています。



裏地にも備後絣を使用

● 折り鶴再生紙について

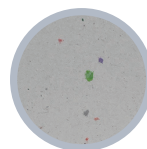


広島平和記念公園には、世界中から年間約 1,000 万羽もの折り鶴が届きます。そこには、平和への祈りや切実な願いが込められています。

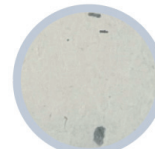
かつては長期保存が中心だったこれらの折り鶴は、現在、新たな役割を与えられています。市内の就労支援施設にて、一羽一羽、大切に手作業で解体・色分けされた後、水に溶かされて「折り鶴再生紙」へと生まれ変わります。このプロジェクトの収益の一部は、広島市の平和貢献事業に寄付されています。折り鶴に託された想いは、紙へと形を変えて、次なる平和の種となります。

● おおたけ手すき和紙について

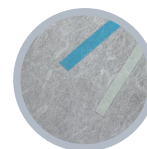
広島県大竹市で江戸時代から続く「おおたけ手すき和紙」。市中を流れる一級河川・小瀬川（おぜがわ）の清流と、厳選された良質な楮（こうぞ）を原料に、平和記念公園に捧げられた折り鶴を職人の手で再生させる「折り鶴再生手すき和紙」の取り組みです。この平和への祈りが込められた特別な和紙を、今回、モミジのリーフレット表紙に採用いたしました。また寄木細工については風格のある楮入りの下張り紙をリーフレットカバーに採用しました。



折り鶴再生紙
・外箱スリーブ
・付属品封入封筒



寄木細工 リーフレットカバー
おおたけ手すき和紙による
「下張り紙」
襖（ふすま）の下張りに使われていた楮（こうぞ）の皮入りの和紙。



モミジリーフレット表紙
おおたけ手すき和紙による「折り鶴再生手すき和紙」
こちらも平和記念公園に届いた折り鶴を手作業で解体、色分けし手で裁断した後に手すき和紙になります。

- ① 外箱スリーブ(折り鶴再生紙)
- ② 備後紬 1 本袋
- ③ 中箱/折り鶴再生紙封筒
- ④ 外箱
- ⑤-1 寄木細工専用リーフレット
(カバー: おおたけ手すき和紙・表紙)
- ⑤-2 モミジ専用リーフレット
(表紙: おおたけ手すき和紙・中箱スリーブ)
- ※リーフレットは寄木細工・モミジ専用
- ⑥ 折り鶴オブジェ(寄木細工)
- ⑦ 万年筆本体

リーフレット(⑤)、シリアルナンバーカード、クリーニングクロス、Pen World 受賞説明書、フォレストেশヨナリー説明カード、取扱説明書、品質保証書、添付用カートリッジインク

品名：セーラー万年筆株式会社創業 115 周年記念万年筆
HIROSHIMA 寄木細工

※筆記具の本体サイズは、クリップ部含む最大径（φ）× ペン先収納時の全長（mm）にて表記しております。

※筆記具の本体サイズは、クリップ部含む最大径（φ）× ペン先収納時の全長（mm）にて表記しております。

ユーザーサービス：0120-191-167（フリーダイヤル）

以上

Tel: 03-6670-6601 URL: <https://sailor.co.jp>